

年頭のごあいさつ

鞍手町長

柴田好輝



新年明けましておめでとございます。町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から町行政に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、職員による多額の公金横領事件により、町民の皆様の町政への信頼を大きく損なうこととなり、多大なご迷惑とご心配をおかけしていることに深くお詫び申し上げます。

町民の皆様には、行財政改革において厳しい負担をお願いしている中、私は町政を預かる最高責任者として、このような町政を揺るがす事件が起きましたことは痛恨の

極みであり、その責任の重大さを痛感しております。

現在、警察や顧問弁護士と協力連携しながら、全力を挙げて、事件の全容解明、職員刑事告訴に向けて努力しているところであり、横領が長期間に及ぶこと、その手口が巧妙であることから、調査は難航を極め、全容解明までにはもう少し時間がかかると予想しています。

今後、一刻も早く事件の全容を解明するとともに、私自身を含め関係職員の責任を明確にし、法律に基づいて損害賠償の請求も視野に入れて対処してまいりたいと考えています。

二度とこのような不祥事が起こらないよう、原因究明を徹底的に行うとともに職員公務員倫理の確立と綱紀粛正に取り組み、

再発防止はもちろんのこと、職員一丸となって失われた町政に対する町民の皆様の信頼を一日も早く取り戻すため、全力を尽くす所存であります。

現在、本町におきましては財政問題をはじめとして、行財政改革、産業施策、福祉施策、環境対策、公営企業等において、いずれも多く課題を抱え、これまで経験したことのない厳しい財政運営を強いられています。

この厳しい現下の状況において、本町では、町民の皆様のご協力をいただきながら、「行財政改革集中改革プラン」を積極的に実行し、簡素で効率的な行財政運営に取り組み、一方、「第四次鞍手町総合計画」において、重点的、優先的に実施する基本的な町の施策を位置づけ、町民の皆様の医療、福祉、教育、安全など社会的セーフティネットを整備しつつ、産業振興や住民福祉の向上に向けて各種事業を展開しているところです。

しかしながら、今世界では米国のサブプライムローン問題に端を発し、百年に一度といわれる深刻な金融・経済危機にあるといわれ、世界的な景気後退が強まる中、日本国内の景気悪化が鮮明となってきました。特に北部九州の基幹産業である自動車産業はこの景気急減速の直撃を受けています。

これは、本町が行財政改革や総合計画において重要かつ不可欠な施策として掲げています企業誘致などの地域振興策の推進によるまちづくりに大きな影響を及ぼすことは否めず、本町を取り巻く行財政運営の環境はさらに厳しさを増すこととなります。

平成21年度は「第四次行財政改革集中改革プラン」の計画期間の最終年度にあたりますが、国の景気対策に期待する一方、さらなる行財政改革に取り組んでいかなければ、鞍手町の再生はあり得ないと考えます。

こうした厳しい状況の中、私たちが待ち望んでいます「(仮称)筑豊インターチェンジ」とその「アクセス道路」の建設工事は、現在、着々と進んでおります。

遠賀川渡架橋についても、橋脚の建設工事が始まっており、今後、工事が本格化してまいります。

この施設は、本町の浮揚を賭けた一大事業であり、本町の発展のための原動力となる重要な社会資本となるものです。

そして、本町のまちづくりを支える基盤

謹んで新年のお慶びを申し上げます

平成21年 元旦



施設として、企業誘致、住宅団地の整備、商工業の振興など積極的に促進することで活性化が図られ、必ずや鞍手町は飛躍できるものと信じてやみません。

私の町長就任以来三年が経過しようとしています。依然として町は多くの問題や課題を抱えております。

皆さまと一緒に考え、協働してまちづくり政策を展開し、「常に心は豊かで誰もが安心できる活気ある鞍手町」の実現に向けて、全力を振り絞って取り組んでまいれる所存であります。

本年も町民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。